

# 有題 無題

## SDGs、広がる共感

SDGsについて話を  
する際、参加者の多くか  
ら「誰一人置き去りにし  
ない」というSDGsの  
大原則に強く賛同するこ  
ういう声が増えてきてい  
る。一人一人の尊厳と個  
性を貴ぶ姿勢は、不寛容  
の風が強く吹く今だから  
こそ、「痛み」がわかる  
人の間で深い共感を生む  
のだろう。人権に根差し  
た「誰一人置き去りにし  
ない」という思考の力を  
実感している。

この考え方はわたしに  
とって、難民や障害  
者、女性、シニア層をは  
じめとする取り残されが  
ちな人々を、最初からす  
くい上げようとする姿勢  
として特に重要な価値観  
になっている。他人と群  
れることに違和感の強か  
った子ども時代、男性中  
心の日本の企業社会で働

### 国連広報センター所長 根本 かおる



ねもと・かおる 86年(昭61)  
東大法卒、同年テレビ朝日入社。  
米コロロンビア大学大学院国際関係  
論修士修了。96年から国連難民高  
等弁務官事務所 (UNHCR) で  
難民支援活動に従事。世界食糧計  
画 (WFP) 広報官、国連UNH  
CR協会事務局長なども歴任。13  
年から現職。神戸市出身。

## 誰一人置き去りにしない

く女性として、故郷を追  
われた難民の権利のため  
に寄り添って支援活動に  
あたった国連機関職員と  
して、そして今、SDG  
sをはじめとする国連の  
課題について広報発信す  
る中で、その思いを強く  
もつようになった。

「異なるもの」や「弱者」  
への差別や不寛容に対し  
て反対の声を上げ、相对  
的な貧困などの社会課題  
にバランスの取れた対応  
を求める視座が今ひとき

わ大切になっている。

今年1948年に世  
界人権宣言が採択されて  
から70年という節目の  
年。2度の世界大戦で傷  
ついた人々の思いや、平  
和と自由への強い願望が  
込められている。人権宣  
言をとりまとめた人々の  
先見性と、その精神を受  
け継ぐ条約の交渉にあた  
った人々の忍耐力と行動  
力を痛感する。SDGs  
の掲げる「誰一人置き去  
りにしない」は、まさに  
に急逝した第7代国連事

務総長コフィー・アナン  
氏の追悼式典が9月21日  
に国連本部で執り行われ  
たが、アナン氏がとりま  
とめに腐心し、ノーベル  
平和賞受賞に至った「ミ  
レニアム開発目標 (MD  
Gs)」こそが、SDG  
sに道筋をつけた。より  
よい世界を築くためのバ  
トンというものを意識せ  
ずにはいられなかった。

世界人権宣言70周年に  
際して、現代に生きる私  
たちは全国連加盟国の総  
意で成立したSDGs  
に、これからのように  
魂を吹き込んでいけるの  
だろうか考える。8月

未来の子どもたちが歴  
史を振り返る時、SDG  
sをポジティブな遺産と  
して感じてもらえるよ  
う、将来世代の芽を摘む  
ことなく多様な人々が自  
分らしく暮らしていける  
社会の実現に、個人・家  
庭・地域・企  
業・組織とし  
て参画いた  
きたい。